



一人ひとりの願いの実現やお困りごとの解決にむけ、
また日本共産党へのご意見も伺うアンケートを
実施中。ぜひあなたの声を寄せてください。

#あなたの声とどけます

2つの
お願い

各県で行われる演説会にご参加ください
しんぶん赤旗をお読みください

大平よしのぶ元衆議院議員は1月8日、広島駅北口で白川よう子参院比例予定候補とともに街頭宣伝。「あなたの願い聞かせて」とシールアンケートにもとりくみました。

シールアンケートには下校中の高校生が応じ、対話が弾みました。白川氏は「日本の学費は高すぎる。それなのに今、授業料値上げまで持ち上がっている」と告発。「軍事費の一部を回せば授業料の値上げなどなくてもすむ」とうったえました。

大平氏は男子高校生2人に「いま何に困っていますか」と質問。2人は「学費が高い」「夕ご飯で野菜の量が減った」と答えます。大平氏は世界の中でも異常な

日本の高学費の実態とその原因は国の教育予算が少なすぎることを解説。2人は「頑張ってください」と話し、大平氏と握手を交わしました。

500万人要求対話・
郵政アンケート実施中!



アンケートにご協力ください

実施中!

課題解決へ東奔西走

こども支援団体と懇談

1月22日、DV被害者の支援にとりくむ福山市のNPO法人「こどもステーション」を訪問。離婚後「共同親権」が導入される改定民法の施行を前に、別居・離婚後の親子の面会交流の支援の実態や課題について伺いました。大平氏は「子どもの願いや親子の安全こそが大切にされ、ジェンダー平等の視点を持った皆さんのようなとりくみが全国に広がるよう努力したい」と語りました。



江の川治水対策申し入れ

島根県の江の川中・下流域で豪雨などによる浸水被害が繰り返されている中、2月3日、地元住民と多田伸治江津市議とともに中国地方整備局へ治水対策について申し入れを行いました。大平氏は「地域のリアルな実情をよくつかみ、計画の見直しも含め、命と財産、暮らし・生業を守る実効性ある対策を迅速にとりくんでいただきたい」と求めました。



遺骨収容を国の責任で 長生炭鉱水没事故

朝鮮人ら183人が犠牲となった事故から83年を迎え、今年も追悼集会に参加(2月1日、宇部市)。昨年、「長生炭鉱の水非常の歴史に刻む会」が坑口を発掘し、遺骨収容



ピーヤ(排気・排水筒)の前で犠牲者を悼む大平氏

に向けた潜水調査も開始されました。本来、遺骨の調査と遺族への返還は国の責任で行うべきであり、今なお背を向け続ける政府の姿勢は許されません。